

躍進する 女性陣



越野運送

三浦朝子さん

「体調が悪くても、職場に出して仕事をすれば元気になる」と笑顔で話すのは、越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）でドライバーとして働く三浦朝子さん。運転好きで、免許を取得してからずっとトラックに乗るのが夢だった三浦さんは、前職もドライ

バーとして働いていたが、トラックに乗りたいたい気持ちが抑えきれず、転職を考えていたときに求人情報誌を見て、同社に応募した。

職場環境もよく、同僚や上司に恵まれていると感じている。「周りのみんなが働きやすい環境にしてくれるので非常に助かっている」と感謝の気持ち話を話す。

入社して8年目になるが、現在まで無事故・無違反を継続している凄腕のドライバーだ。顧客からも信頼され、配達先では「越野運送で一番男

らしいドライバー」と言われるほど、元気ががむしゃらに仕事をこなしている。「今では、男らしいのであだ名は『オッサン』と言われているが、入社当時は『姫』と言われ可愛がられていた」と笑いながら当時を振り返る。

また、常に接している顧客に、どうしたら好かれるかを考え、「運ぶだけではない」という会社のモットーを忠実に守るために、いつも元気であいさつすることを心掛けて

いる。「お客さんから『いつも元気だね』と言われたとき、少しは好かれているのかなと感じられる」と話す。

寄川修チーフは「すぐく貪

欲で、仕事に対する姿勢は男性ドライバーより頼りになるほどの存在」と太鼓判を押す。

会社でも頼られる存在に成長し、今では従業員やお客さんから「ねーさん」や「あさこねーさん」と呼ばれ慕われる。仕事の疲れを癒すため、休

日には温泉巡りやゴルフなどで英気を養っている。「仕事も遊びも楽しくするのがモットー。切り替えをしっかりとしている」と話す。

「越野運送でナンバーワンのドライバーになる」との目標を掲げ、「顧客に『あさこねーさんに来てほしい』と言われるように頑張っていく」と語る。

（中村優希）

元気にナンバーワン目指す